Express Mail Label No.	Dated:

Docket No.: 09656/0200092-US0

(PATENT)

#### IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of: Yasushi Enguchi

Application No.: Not Yet Assigned Confirmation No.:

Filed: Concurrently Herewith Art Unit: N/A

For: FRAGRANT ORNAMENT Examiner: Not Yet Assigned

# **CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS**

MS Patent Application Commissioner for Patents P.O. Box 1450 Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign applications filed in the following foreign countries on the dates indicated:

Country	Application No.	Date
Japan	2002-334956	November 19, 2002
Japan	2003-177885	June 23, 2003

In support of this claim, a certified copy of each said original foreign application is filed herewith.

Dated: October 30, 2003

Respectfully submitted,

Joseph R. Robinson /Lower Del UCTOTOS Registration No.: 33,448/47,522

DARBY & DARBY P.C.

P.O. Box 5257

New York, New York 10150-5257

(212) 527-7700

Attorneys/Agents For Applicant

# 日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 Date of Application:

2002年11月19日

出 願 番 号 Application Number:

特願2002-334956

[ST. 10/C]:

Applicant(s):

[ J P 2 0 0 2 - 3 3 4 9 5 6 ]

出 願 人

株式会社イー・アンスリー・システムズ

2003年 9月22日

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 今井康



1/E

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000010984

【提出日】 平成14年11月19日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A44C 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪市中央区久太郎町一丁目2番7号 株式会社イー・

アンスリー・システムズ内

【氏名】 円口 泰司

【特許出願人】

【住所又は居所】 大阪市中央区久太郎町一丁目2番7号

【氏名又は名称】 株式会社イー・アンスリー・システムズ

【代理人】

【識別番号】 100084135

【弁理士】

【氏名又は名称】 本庄 武男

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001993

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要



【発明の名称】芳香性身装品

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品。

【請求項2】 上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものである請求項1記載の芳香性身装品。

【請求項3】 上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或は ほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳 香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものである請求項1記載の 芳香性身装品。

【請求項4】 上記身装品の一部が、装飾体そのものである請求項1~3のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項5】 上記身装品の一部が、装飾体を繋ぎ合わせる芯材である請求項 1~3のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項6】 上記身装品の一部が、装飾体に取り付けられた条体である請求項5に記載の芳香性身装品。

【請求項7】 上記身装品が、ストラップ、ブレスレット、ネックレス、キーホルダ、イヤリングのいずれかである請求項1~6のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項8】 上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を 注入する注入孔と,空気を排出する排気孔とが形成されてなる請求項1~7のい ずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項9】 上記注入孔及び/若しくは上記排気孔が、常時は閉じているか 或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり、芳香剤の注入時に変形して芳香剤 の注入具あるいは空気の通過を可能とするものである請求項8に記載の芳香性身 装品。

【請求項10】 上記芳香剤の注入具が注射器或は注射針である請求項9に記載の芳香性身装品。

## 【発明の詳細な説明】

[0001]

#### 【発明の属する技術分野】

本発明は、芳香剤を内部に収容し得る芳香剤収容器を備えた芳香性身装品に係り、特に、芳香の必要な時に引っ張ったり、押しつぶしたり、揉んだりすることで、その時だけ芳香性を発揮しうるようにした芳香性身装品に関するものである

## [0002]

## 【従来の技術及びその問題点】

従来,上記のような芳香剤を内部に収容し得る芳香剤収容器を備えた芳香性身装品としては,スポンジ等の多孔性容器からなる芳香剤収容器に芳香剤を収容し,芳香剤が沁み出すことで芳香作用を発揮させるようにした身装品が知られている。

しかしながらこのような芳香性身装品では、常時芳香剤が沁み出るので、必要でないときにまで周囲の人に芳香を感じさせる問題があり、また、常時芳香を放っために芳香剤の消費が多く、不経済という点でも問題があった。

従って、本発明が目的とするところは、必要な時に身装品を使っている人等が 、その身装品を引っ張ったり、揉んだり、押しつぶしたりといった変形を加えた ときだけ、芳香を発揮することのできる芳香性身装品を提供することである。

#### [0003]

#### 【課題を解決するための手段】

本発明は、上記した目的を達成するためになされたものであり、その要旨とするところは、

身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え , この芳香剤収容器に, 常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め, 収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品である。

上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものであることが望ましい。

上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或はほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものであってもよい。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体そのもの或は装飾体を繋ぎ合わせる芯材であってもよい。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体に取り付けられた条体であってもよい。

上記身装品としては、ストラップ、ブレスレット、ネックレス、キーホルダ、イヤリング等が考えられる。

また,上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を注入する 注入孔と,空気を排出する排気孔とが形成されていることが望ましい。

上記注入孔及び/若しくは上記排気孔として,常時は閉じているか或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり,芳香剤の注入時に変形して芳香剤の注入具あるいは空気の通過を可能とするものが考えられる。

上記芳香剤の注入具の典型例として注射器或は注射針が考えられる。

#### [0004]

#### 【発明の実施の形態】

続いて添付図面を参照して本発明を具体化した実施形態について説明し,本発明の理解に供する。

ここに図1は、本発明の一実施形能に係る身装品の一例としてのストラップを示す断面図、図2は図1に示したストラップの要部拡大断面図、図3は、本発明の種々の適用例を示す図である。

続いて、上記図面を参照しつつ、好ましい実施形態に付いて説明し本発明の理

解に供する。

<u>,</u> }:

この実施形態にかかるストラップは、例えば携帯電話、PDAなどの携帯通信端末などに取り付けられるストラップであるが、その用途は、上記に限定されない。

#### [0005]

このストラップSは、図1に示すように携帯電話などに取り付けられる紐1と ,該紐1に金具3を介して接続される釣り金具2と、上記釣り金具2に連結されるチューブ状の芳香剤収容器4と、該芳香剤収容器4に取り付けられる装飾体5 とを主な要素として備えている。ここに6a,6bは、装飾体5が芳香剤収容器4から脱落するのを防止するための止め金具である。この例は、チューブ状の芳香剤収容器4が、その形態から条体であり、且つ装飾体5を繋ぎ合わせる芯材を兼ねる例である。

上記芳香剤収容器4の詳細について図2を参照して説明する。芳香剤収容器4は、それ自身弾性のあるプラスチック製で、その端部にチューブの端部開口を封止する栓部材7aと7bが装着されている。一方の栓部材7aには、香水などの芳香剤をチューブ内に注入するための注射器或は注射針を挿入するための注入孔8aが、他方の栓部材7bには、上記注射器などにより芳香剤が芳香剤収容器4に注入されたときに、チューブ内の空気を逃がす排気孔8bがそれぞれ形成されている。ここに栓部材7a或は7bは、それ自身弾力性のあるプラスチックで構成することで、芳香剤の注入を行なわない常時には、上記注入孔8及び排気孔8bが完全に閉じているか、あるいは内部の芳香剤が出てこない程度に閉じている、即ち、内部の芳香剤が出てこない程度の有効径の注入孔8a或は排気孔8bが形成されていることが望ましい。

尚,上記注入孔8a或は排気孔8bは,芳香剤収容器4自体に形成されたものでも良い。

また、上記芳香剤収容器4自身には、図2(b)に示すように複数の芳香剤流 出孔9が形成されている。この芳香剤流出孔9の有効内径は多様でよいが、大き くとも、内部の芳香剤が常時はまったく流出しないか、或はほとんど流出しない ように、芳香剤の有効径と同等或はそれより小さく設定されている。ただし、こ のような芳香剤流出孔9は、上記芳香剤収容器4を手で引っ張ると、図2の(b)破線(9a)で示すように広がって、その時だけ芳香剤が流出できるように構成されている。上記のような芳香剤流出孔9は、芳香剤収容器4を弾性のある多孔性材料で構成し、材料の開口率を不純物の包含率等を調整することで容易に形成される。もちろん、芳香剤の通らない材料に針で突いて適当な径の芳香剤流出孔9を形成するようにしても良い。

## [0006]

このようなストラップSの場合,常時は上記芳香剤流出孔9が,小さいので,内部の芳香剤はまったく或はほとんど流出しないが,必要に応じてストラップSを引っ張ったり揉んだりすると,芳香剤収容器4が変形して芳香剤流出孔9が拡大し,その時だけ内部の芳香剤が流出するので,極めて経済的であり,且つ芳香を嫌う雰囲気では芳香を発しないので,迷惑とならない優れた効果を発揮する。

本発明は上記ストラップのみでなく、広く身装品に適用できる。例えば図3に示すような、ブレスレットB、ネックレスN、イヤリングY、キーホルダKである。

また、芳香剤収容器は上記のような芯材となる条体でなくとも、装飾物自身であっても良い。例えば、図1に示した装飾品5自身の内部に芳香剤を収容する部屋を作っても良い。そのような構成であれば、上記のようなブレスレットB、ネックレスN、イヤリングY、キーホルダKの装飾物自身に芳香剤を蓄える部屋を備えてもよく、このような場合、ブローチ、指輪、ペンダント、ベルトバックル、財布、名刺入れ、定期入れ、その他、それ自身香りを愉しむ香り袋のようなものも本発明の範囲である。このような実施形態の場合、ペンダントなどを揉むだけで芳香を発することになろう。

#### [0007]

#### 【発明の効果】

本発明は、以上述べたように、

身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え , この芳香剤収容器に, 常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め, 収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成さ れてなるものである芳香性身装品である。この芳香性身装品の場合,収容器を揉む,引っ張る等による変形を加えたときだけ芳香剤が外部に流出するので,芳香の不要な時には芳香を発しないので経済的である。また芳香が好ましくない時にも芳香を発するといった不都合が無くなる。

上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものであることが望ましい。これによって実質的に収容器を変形させない限り、芳香を発しないことになる。

上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或はほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものであってもよい。これによって実質的に収容器を変形させない限り、芳香を発しないことになる。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体そのもの或は装飾体を繋ぎ合わせる芯材であってもよい。芯材として構成する場合として、ストラップ、ブレスレット、ネックレス、イヤリング、キーホルダなどが、装飾体そのものとして構成すべき場合として、指輪、ブローチ、ペンダント、バックル、財布、臭い袋などがある。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体に取り付けられた条体であってもよい。この場合、単に引っ張るだけで芳香を発するのに都合ば良い。

また、上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を注入する 注入孔と、空気を排出する排気孔とが形成されていることが望ましい。芳香剤が 無くなったとき、これを追加することができる。

上記注入孔及び/若しくは上記排気孔として,常時は閉じているか或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり,芳香剤の注入時に変形して芳香剤の注入具あるいは空気の通過を可能とするものが考えられる。簡単な構成で,注入孔や排気孔と構成できる。

上記芳香剤の注入具の典型例として注射器或は注射針が考えられる。注入に都 合の良い構成である。

## 【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の一実施形能に係るストラップの断面図。
- 【図2】図1に示したストラップの要部断面図。
- 【図3】本発明を適用できる身装品の例を示す図。

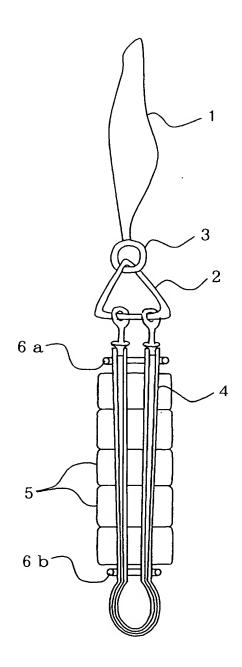
# 【符号の説明】

- S…ストラップ
- 1 …紐
- 2…釣り金具
- 3 … 金具
- 4…芳香剤収容器
- 5…装身具
- 6…止め金具
- 7 …栓
- 8 a …注入孔
- 8 b…排気孔
- 9…芳香剤流出孔

【書類名】

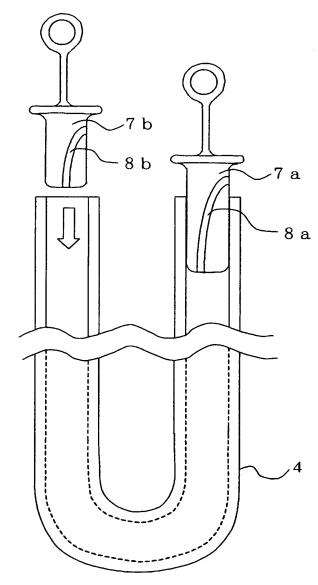
図面

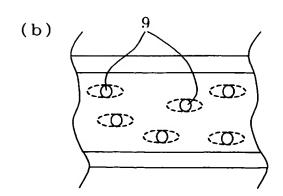
【図1】



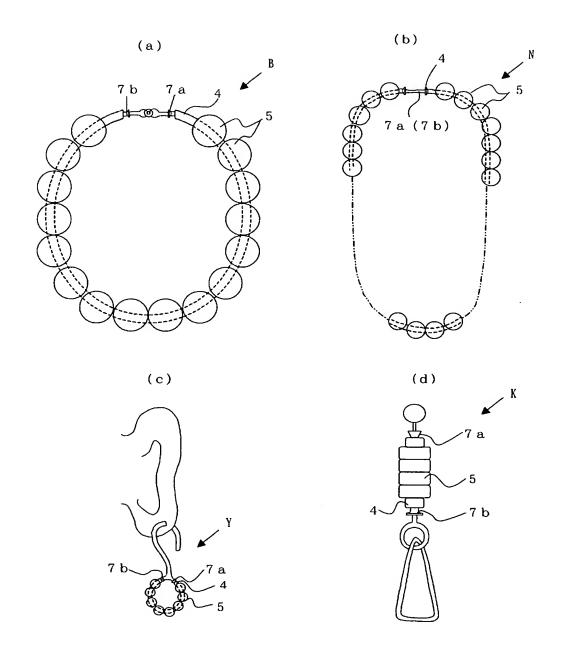
【図2】







【図3】





## 【書類名】要約書

## 【要約】

【課題】必要な時に身装品を使っている人等が、その身装品を引っ張ったり、 揉んだり、押しつぶしたりといった変形を加えたときだけ、芳香を発揮すること のできる芳香性身装品を提供すること。

【解決手段】 身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品。

# 【選択図】 図1



## 認定・付加情報

特許出願の番号 特願2002-334956

受付番号 50201744677

書類名 特許願

担当官 駒崎 利徳 8640

作成日 平成15年 3月12日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 500436972

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区久太郎町一丁目2番7号

【氏名又は名称】 株式会社イー・アンスリー・システムズ

【代理人】 申請人

【識別番号】 100084135

【住所又は居所】 大阪市中央区南船場2丁目7番11号 カーニー

プレイス南船場

【氏名又は名称】 本庄 武男



## 特願2002-334956

## 出願人履歴情報

識別番号

[500436972]

1. 変更年月日

2000年11月 8日

[変更理由]

住所変更

住 所 氏·名 大阪市中央区谷町4-8-1 ストークエスエフビル6F

株式会社イー・アンスリー・システムズ

2. 変更年月日

2002年12月 9日

[変更理由]

住所変更

住 所

大阪府大阪市中央区久太郎町一丁目2番7号

氏 名 株式会社イー・アンスリー・システムズ